

数学の授業での評価と、4つの観点

I 数学への関心・意欲・態度

数学的な事象に関心を持ち、数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさがわかり、それらを意欲的・能率的に問題の解決に活用しようとする態度を評価します。

II 数学的な見方や考え方

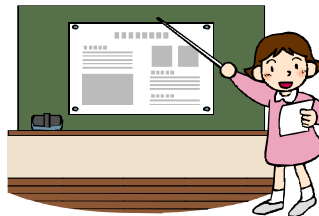
内容を論理的にとらえ、より進んだ見方や考え方を見いだしたり、一般的、統一的にみたりするなど、数理的な考察能力を評価します。

III 数学的な表現・処理

発表（論理的な表現）や課題の処理の技能や他者の考えを聞き分ける能力を評価します。

IV 数量、図形などについての知識・理解

数量や図形などに関して、考え方を理解できる、基本的な知識を身につけている、基本的な手順や図形の性質を理解している様子などをとらえて評価します。



数学の勉強の仕方

<授業>

- ◇授業のはじめに、簡単に前の時間の学習内容を復習します。基礎・基本の徹底および定着をめざして行っています。
- ◇受け身でなく、積極的に発言・発表をしましょう。
- ◇授業の最後に確認問題を行います。

<宿題>

- ◇ほとんど毎時間宿題があります。主にワークや、プリントなどの問題です。その日のうちに忘れずにやりましょう。
- ◇毎週1回ワーク提出をし、どこまで進んだかを確認します。ワークに取り組んでわからない問題があれば、先生に質問して下さい。

<小テスト・観点別評価テスト>

短い範囲で授業内容がどれだけ理解できたかを知るための大切なテストです。授業の内容を復習しテストに臨みましょう。テストが返されたら、間違った問題を必ずやり直しましょう。これが理解を深めるポイントです。

<定期テスト>

1学期、中間・期末、2学期、中間・期末、3学期、期末と、1年間に5回の定期テストがあります。ワークや、プリント、小テストなどで、間違った問題を中心に何回も繰り返し学習しましょう。わからない問題は遠慮せず先生に質問して下さい。